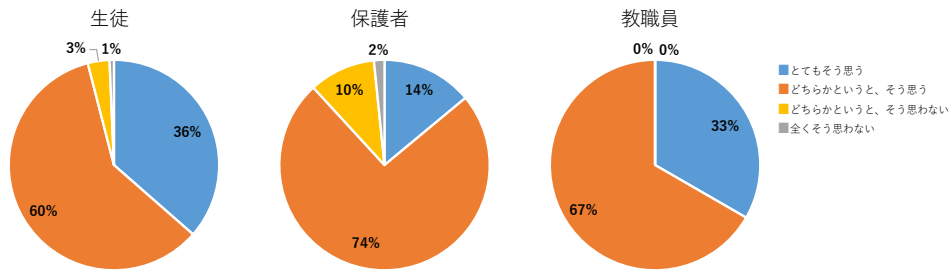


【令和7年度 練馬中学校学校評価報告書】

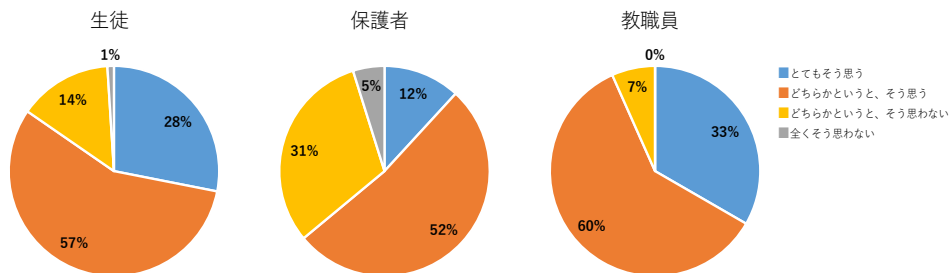
【回答数 生徒299名、保護者186名、教職員15名】

①学校は指導計画（シラバス）に沿って授業を進めている。



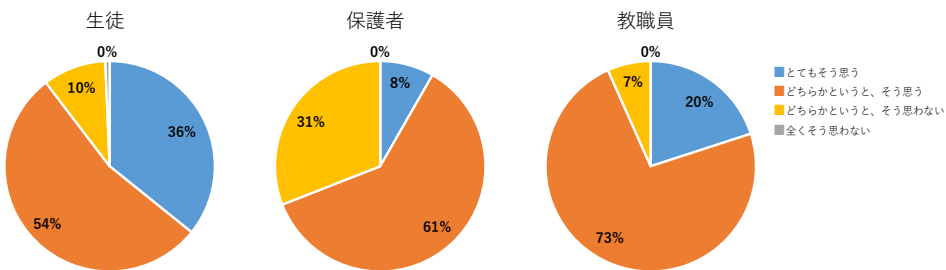
【分析】 肯定率は全対象で88%以上と高く概ね良好である。

②学校は個に応じた指導を徹底し、生徒に基礎学力が身に付くように教えている。



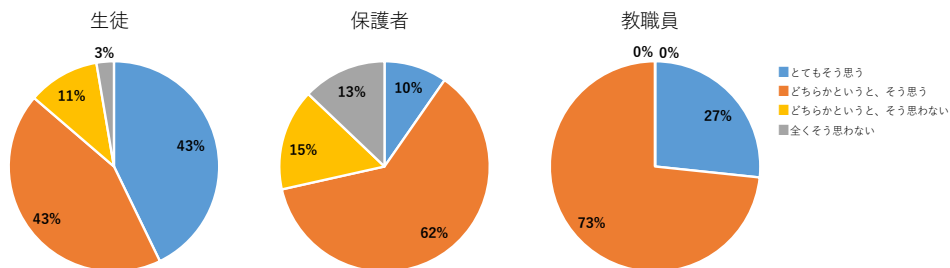
【分析】 教職員・生徒は肯定派が8割超だが、保護者は否定派が36%に達し評価のギャップが顕著な点が課題となっている。

③学校は学習内容がわかりやすく工夫された授業をしている。



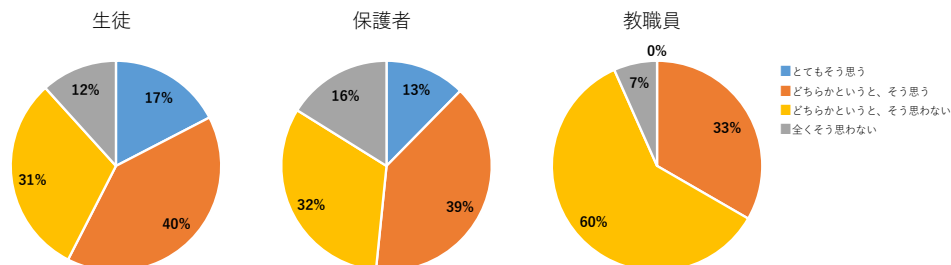
【分析】 生徒・教職員は肯定派が9割超と高評価ですが、保護者は否定派が31%あり授業工夫の発信が課題である。

④学校は通知表等を通して、生徒の学力を観点別評価により、適切に評価している。



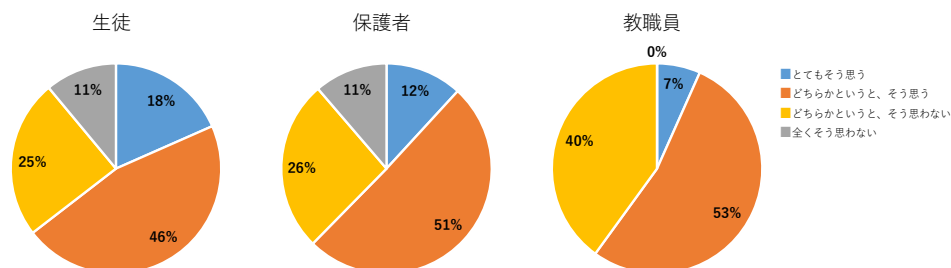
【分析】 生徒と教職員の肯定率は8割超で高い一方、保護者は否定派が28%あり観点別評価の周知が課題となっている

⑤生徒は家庭学習の習慣が身に付いている。



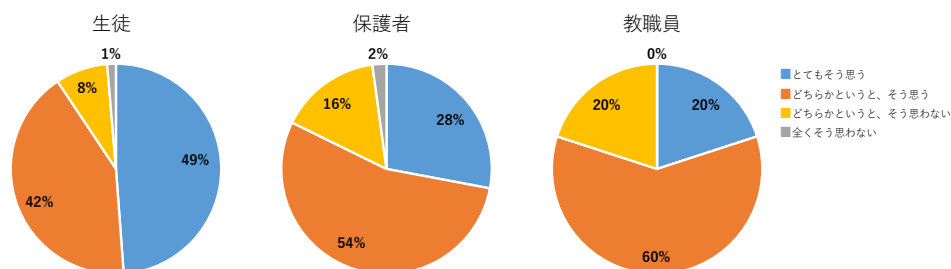
【分析】 全対象で否定派が4割～6割超を占め、生徒の家庭学習習慣の定着が全体的な大きな課題もなっている。

⑥朝学習や夏季補充教室等の学習機会は生徒の学習意欲の向上に役立っている。



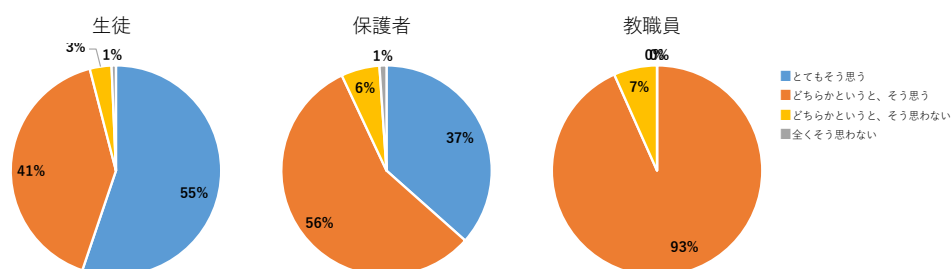
【分析】 肯定派は6割前後ですが、教職員の否定派が4割に達し学習機会の効果に認識の差が見られます。

⑦生徒は学校や校外でよく挨拶している。



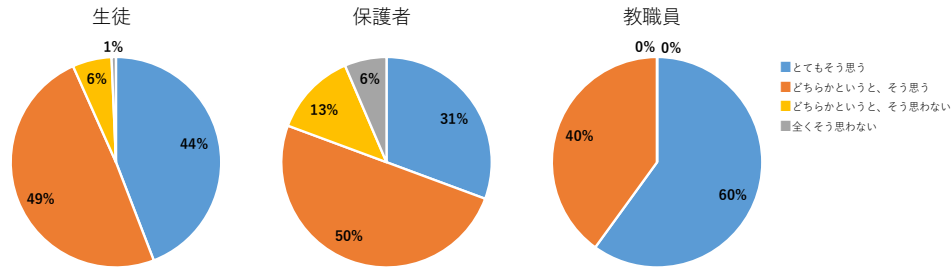
【分析】 全対象で肯定派が8割以上と高く概ね良好ですが、生徒自身が最も肯定度が高く捉えています。

⑧生徒は学校の規則を守って生活している。



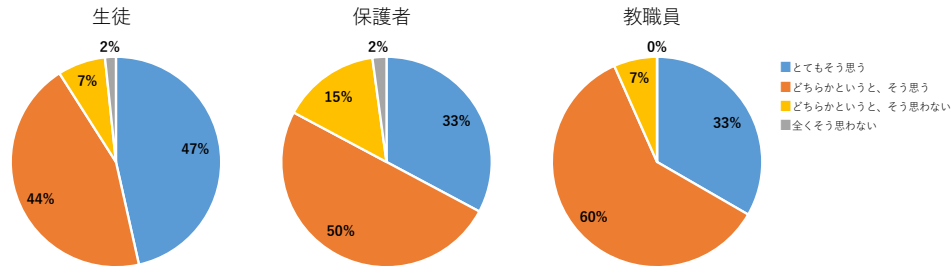
【分析】 全対象で肯定派が9割を超えており、校則遵守に対する評価は全体として極めて良好です。

⑨学校は学習や部活動、行事において生徒の努力を認めたり励ましたりして、温かく接している。



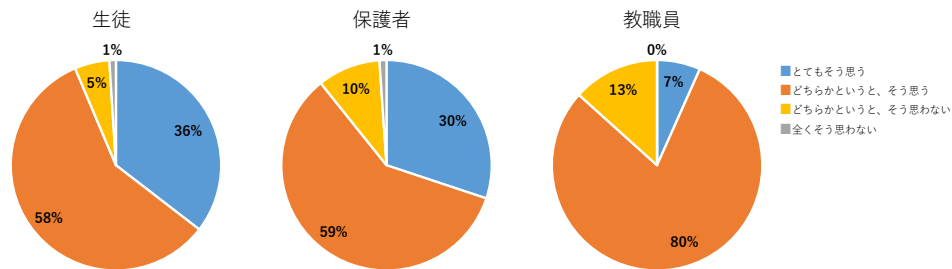
【分析】 全対象で肯定派が8割～10割と非常に高く、生徒の努力を認める温かい対応への評価は極めて良好です。

⑩生徒は明るく生き生きと学校生活を送っている。



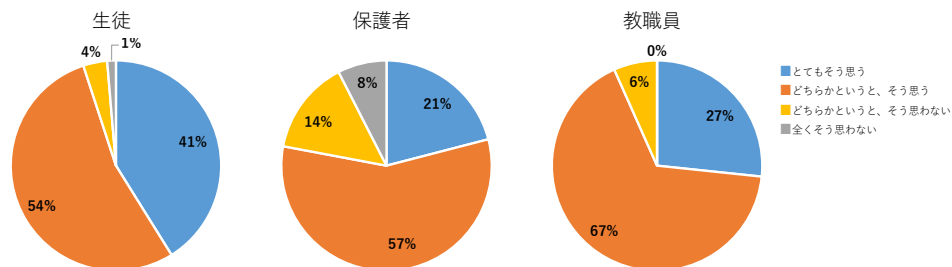
【分析】 全対象で肯定派が8割～9割超と非常に高く、生徒が生き生きと学校生活を送る姿が窺えます。

⑪生徒は集団生活のルールなど規範意識が高く、思いやりの心が育っている。



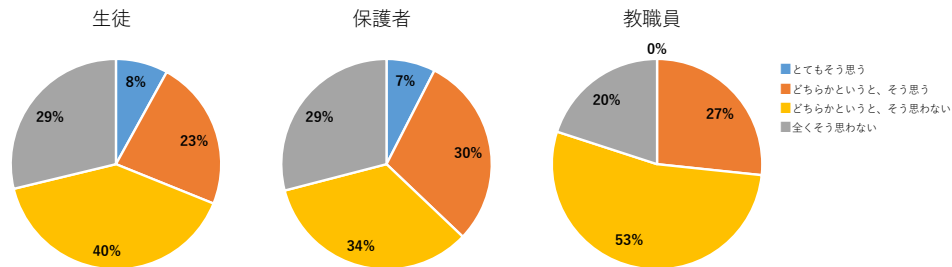
【分析】 全対象で肯定派が8割～9割超と非常に高く、規範意識と思いやりの育成は極めて良好です。

⑫学校は教育活動において人権を尊重する姿勢で生徒の指導にあたっている。



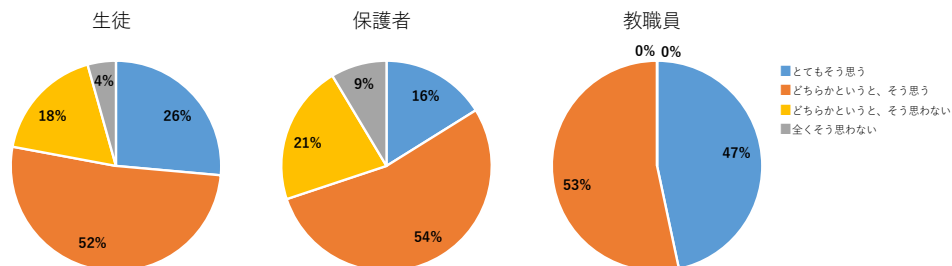
【分析】 肯定派は全対象で7割8分～9割5分と高いですが、保護者は否定派が22%あり認知向上が課題です。

⑬生徒は地域の行事やボランティア活動などに進んで参加している。



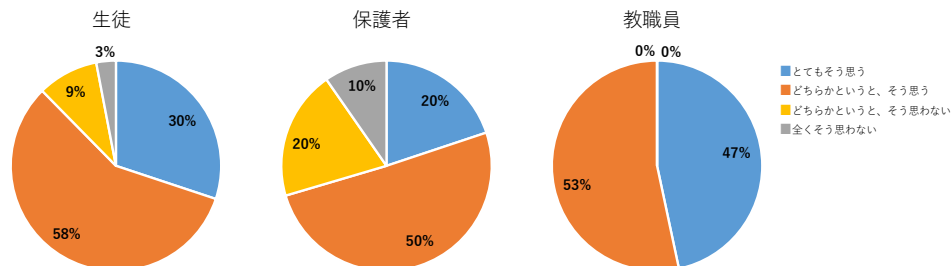
【分析】 全対象で否定派が6割～7割を超えており、地域行事やボランティアへの主体的な参加の促進が課題である。

⑭学校は生徒の問題や悩み、トラブルなどを見逃さずに相談にのったり指導したりしている。



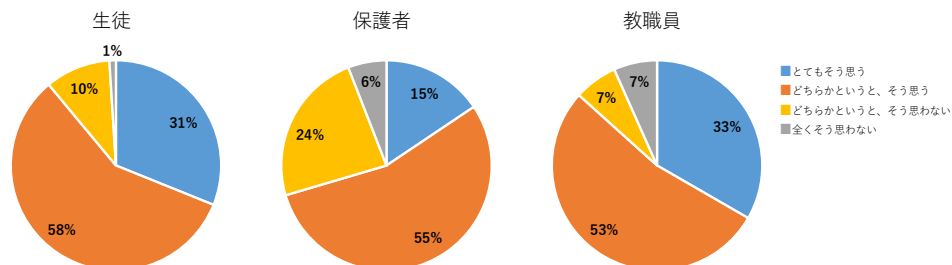
【分析】 教職員は肯定率100%ですが、保護者・生徒には2割～3割の否定派がおり対応の周知・信頼構築が課題となっている。

⑮学校は保護者の方にとって連絡や相談がしやすく、適切に対応している。



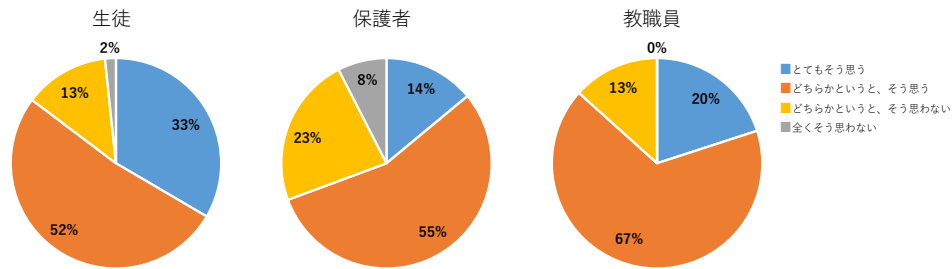
【分析】 教職員の肯定率は100%ですが、当事者である保護者は否定派が30%あり相談対応の改善が課題です。

⑯学校は地域や家庭との連携や協力体制を十分にとり、地域の学校として機能している。



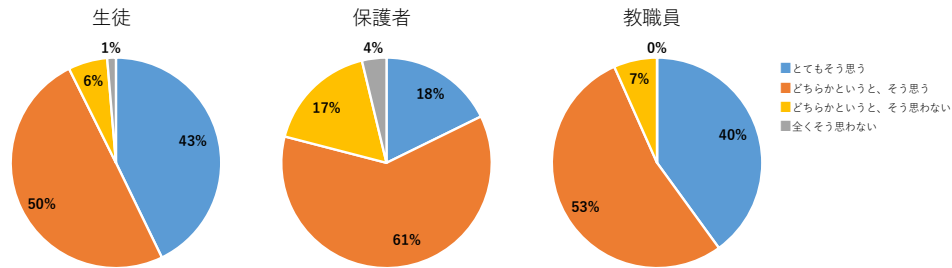
【分析】 生徒と教職員の評価は概ね良好ですが、保護者の3割が連携不足を感じており、家庭・地域への発信強化が必要です。

⑰学校は各種たよりやホームページ、学校公開等により、学校の様子を家庭にしっかりと伝えている。



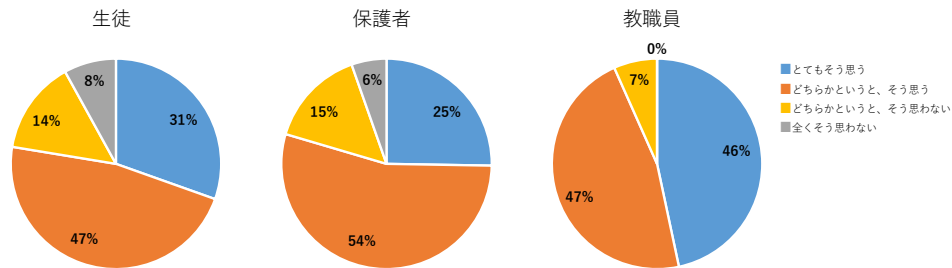
【分析】 教職員と生徒の肯定感は8割強と高い一方、情報を受け取る保護者は31%が不満を感じており改善の余地があります。

⑱学校は生徒の健康・体力の増進に努めている。



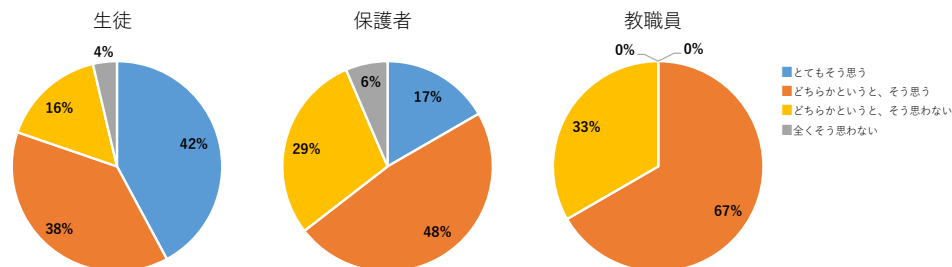
【分析】 全対象で肯定派が8割～9割と高く、健康・体力の増進に関する取り組みへの評価は良好と言えます。

⑲学校は給食の栄養バランスを考え、献立を工夫している。



【分析】 全対象で肯定派が8割～9割超と高く、給食の栄養バランスや献立の工夫は高く評価されています。

⑳生徒は自分の将来について自身で考えている。



【分析】 生徒の肯定率は8割ですが、保護者・教職員は否定派が約3割あり、キャリア意識の育成に差が見られます。

【総括】

概ね良好な回答であったが、保護者との連絡・情報共有や地域との連携強化に課題が見られる。特に情報発信と信頼構築は喫緊の課題であるので、各種たよりや公開行事等を通じて積極的に周知し対応していく必要がある。保護者や地域の意見はしっかりと受け止め、来年度の教育活動の課題として学校全体で取り組む。